

◆ 地域における現状・課題分析シート

別紙-5

①洪水時の情報発信に関する事項

項目	国	鹿児島県	〇〇市・町	〇〇市・町	〇〇市・町	現状と課題(取りまとめ)
住民等への情報伝達の体制や方法	【現状】	【現状】	【現状】	【現状】	【現状】	【現状】
洪水時における河川管理者からの情報提供等の内容及びタイムラグ	【課題】	【課題】	【課題】	【課題】	【課題】	【課題】
関係機関職員の防災人員について	【現状】	【現状】	【現状】	【現状】	【現状】	【現状】
避難勧告等の発令	【課題】	【課題】	【課題】	【課題】	【課題】	【課題】
ライブ映像の提供	【現状】	【現状】	【現状】	【現状】	【現状】	【現状】
肝属川における地形特性について	【課題】	【課題】	【課題】	【課題】	【課題】	【課題】



③水防活動及びハード対策に関する事項

項目	国	鹿児島地方气象台	鹿児島県	〇〇市・町	〇〇市・町	〇〇市・町	現状と課題(取りまとめ)
河川水位等に係わる備後提供	【現状】	【現状】	【現状】	【現状】	【現状】	【現状】	【現状】
河川巡視について	【課題】	【課題】	【課題】	【課題】	【課題】	【課題】	【課題】
水防団(消防団)について	【現状】	【現状】	【現状】	【現状】	【現状】	【現状】	【現状】
避難誘導体制	【課題】	【課題】	【課題】	【課題】	【課題】	【課題】	【課題】
水防資機材の整備状況	【現状】	【現状】	【現状】	【現状】	【現状】	【現状】	【現状】
庁舎、災害拠点病院等の水害時における対応	【課題】	【課題】	【課題】	【課題】	【課題】	【課題】	【課題】
排水施設、排水資機材の操作・運用	【現状】	【現状】	【現状】	【現状】	【現状】	【現状】	【現状】
堤防等河川管理施設の現状の整備状況及び今後の整備内容	【課題】	【課題】	【課題】	【課題】	【課題】	【課題】	【課題】

★肝風川における現状・課題分析シート

参考資料-4

項目	国	鹿児島地方気象台	鹿児島県	鹿屋市	肝付町	東串良町	現状と課題
洪水時の情報発信に関する事項							
住民等への情報伝達の体制や方法	・河川水位、洪水予報、ライブ映像等の情報やWEBや報道機関を通じて伝達している。	・気象情報等を、自治体や報道機関を通じて住民等へ伝達している。	・「鹿児島県河川防災情報システム」により西串、河川水位、ダム情報、河川状況映像等の情報提供を行っている。(肝風川水系では西串、尾ののみ) ・スマートフォンにおいても、きめ細かな防災情報について4/27年4月から提供開始。	・避難情報等について、①県警委託のエリアメール、②防災行政無線、③水防団(消防団)車両、④市HPを通じて情報提供を行っている。 ・また、コミュニティM(河川防犯団)を活用したスマートフォン用アプリでも情報提供を行っている。	・避難情報等について、①県警委託のエリアメール、②防災行政無線、③水防団(消防団)車両、④市HPを通じて情報提供を行っている。	・避難情報等について、①県警委託のエリアメール、②防災行政無線、③水防団(消防団)車両、④市HPを通じて情報提供を行っている。	○各市町において、避難情報等を緊急連絡メール、防災行政無線、水防団(消防団)車両等で住民に周知している。 ○鹿屋市では、避難情報等をコミュニティMで住民に周知している。 ○大隅河川国道事務所は、鹿屋市、方気象台が共同で洪水予報等を発信している。 ○大隅河川国道事務所では、洪水水位観測所等の河川水位、カメラ画像をホームページやテレビの画面で放送で周知している。
洪水時における河川管理業者からの情報提供等の内容及びタイムラグ	・洪水予報指定河川において、避難勧告の発令判断の目安となる迅速な水位情報の提供が重要である。 ・河川管理業者と共同で洪水予報を連携している。 ・警戒、注意、注意明け、ピーク時、退避、最大雨量等の予測値を記述している。	・河川管理業者と共同で洪水予報を連携している。 ・警戒、注意、注意明け、ピーク時、退避、最大雨量等の予測値を記述している。	・河川管理業者と気象台が共同で洪水予報を連携している。 ・警戒、注意、注意明け、ピーク時、退避、最大雨量等の予測値を記述している。	・少ない防災担当職員で、市町村会館に集う広い地域を管理する必要がある。 ・少ない防災担当職員で、土砂災害等の災害対応を実施する必要ががある。	・少ない防災担当職員で、広い地域を管理する必要ががある。 ・少ない防災担当職員で、土砂災害等の災害対応を実施する必要ががある。	○近年大規模な洪水被害が発生しており、大規模な洪水被害が減少している。 ○隔られた防災担当職員で、広い河川区域を管理し、土砂災害等の災害対応を実施している。	●水位情報等の提供情報の意味やその情報による対応が住民に十分分らないこと懸念される。 ●避難情報等の提供情報の意味やその情報による対応が住民に十分分らないこと懸念される。
関係機関職員の防災人員について	・隔られた職員で防災業務に従事する必要がある。 ・限られた職員で防災業務に従事する必要がある。	・限られた職員で防災業務に従事する必要がある。	・限られた職員で防災業務に従事する必要がある。	・少ない防災担当職員で、市町村会館に集う広い地域を管理する必要がある。 ・少ない防災担当職員で、土砂災害等の災害対応を実施する必要ががある。	・少ない防災担当職員で、広い地域を管理する必要ががある。 ・少ない防災担当職員で、土砂災害等の災害対応を実施する必要ががある。	○近年大規模な洪水被害が発生しており、大規模な洪水被害が減少している。 ○隔られた防災担当職員で、広い河川区域を管理し、土砂災害等の災害対応を実施している。	●急激な水位上昇に対して迅速な対応が求められる。 ●大規模な洪水被害に、十分対応できないおそれがある。
避難勧告等の発令	・各市町と避難勧告に項目した防災担当職員(タイムライン)を作成している。	・河川管理業者と共同で洪水予報を連携している。 ・警戒、注意、注意明け、ピーク時、退避、最大雨量等の予測値を記述している。	・河川管理業者と気象台が共同で洪水予報を連携している。 ・警戒、注意、注意明け、ピーク時、退避、最大雨量等の予測値を記述している。	・地域防災計画に具体的な避難勧告の発令基準を明記しているが、対象地域は明記していない。 ・近年は洪水による避難勧告を発生した回数が少ない。 ・避難勧告の発令等に項目したタイムラインを作成している。	・地域防災計画に具体的な避難勧告の発令基準を明記しているが、対象地域は明記していない。 ・近年は洪水による避難勧告を発生した回数が少ない。 ・避難勧告の発令等に項目したタイムラインを作成している。	○各市町と避難勧告の発令等に項目したタイムラインを作成している。 ○市長を対象としたタイムラインを周知して河川水位と避難勧告等の発令のタイムラグを把握している。 ○各市町は、避難勧告等の発令基準を地域防災計画に記載している。 ○各市町は、近年洪水による避難勧告を発生した回数が少ない。 ○大隅河川国道事務所と鹿屋市、方気象台が共同で洪水予報等の発令の参考となる洪水予報の発表やホームページを連携している。	●避難情報等の意味が住民に十分伝わっていないおそれがある。 ●洪水による避難勧告等の発令が少なく、空疎の避難勧告が多発した場合に留意性が高まる。 ●住民の消費な避難行動につながるような避難が必要である。 ●適切な内容が反映されたタイムラインとなっているか、洪水予報を踏まえた検証が必要である。
ライブ映像の提供	・ホームページで河川カメラの停止画像を提供している。 ・各市町にカメラ映像を利用して河川カメラの動画を提供している。 ・NHKに河川カメラの動画を提供している。	・河川カメラの映像を捉え、ホームページで河川カメラの映像を捉えている。 ・各市町にカメラ映像を利用して河川カメラの動画を提供している。 ・NHKに河川カメラの映像を捉えている。	・河川カメラの映像を捉え、ホームページで河川カメラの映像を捉えている。 ・各市町にカメラ映像を利用して河川カメラの動画を提供している。 ・NHKに河川カメラの映像を捉えている。	○大隅河川国道事務所では、ホームページで河川カメラの映像を捉えている。 ○各市町にカメラ映像を利用して河川カメラの動画を提供している。 ○洪水の浸透状況を伝えるため、河川カメラの映像をNHKに提供している。	○大隅河川国道事務所では、ホームページで河川カメラの映像を捉えている。 ○各市町にカメラ映像を利用して河川カメラの動画を提供している。 ○洪水の浸透状況を伝えるため、河川カメラの映像をNHKに提供している。	○大隅河川国道事務所では、ホームページで河川カメラの映像を捉えている。 ○各市町にカメラ映像を利用して河川カメラの動画を提供している。 ○洪水の浸透状況を伝えるため、河川カメラの映像をNHKに提供している。	●河川カメラの映像において、居法が提供されていない。 ●急激な水位上昇に対する迅速な情報収集・発信が求められるおそれがある。
肝風川における地形特性について							○上流部に標高1,000mを超える急峻な山地があり河川水位が急激なため、河川の水位上昇が急激であるおそれがある。

①洪水時の情報発信に関する事項

項目	鹿島地方家教会	鹿島島根	鹿屋市	肝付町	東串良町	現状と課題	
選抜場所・選抜経路		<p>・県の洪水予報河川等については洪水想定区域、基礎水位制御所の水位設定の取組しを行っている。また、自治体のハザードマップ作成を支援している。(肝付川水系は幹流河川なし)</p>	<p>・緊急選抜場所・選抜所を指定しており、施設計画規模の洪水に対する防災マップにより周知している。</p> <p>・施設計画規模の洪水に対する洪水想定区域域内一部の選抜場所がある。</p> <p>・一部の地区でマイハザードマップを作成し、住民の選抜所までの選抜経路の検討を行っている。</p>	<p>・緊急選抜場所・選抜所は指定しており、施設計画規模の洪水に対する防災マップにより周知している。</p> <p>・施設計画規模の洪水に対する洪水想定区域域内一部の選抜場所がある。</p> <p>・一部の地区でマイハザードマップを作成し、住民の選抜所までの選抜経路の検討を行っている。</p>	<p>・緊急選抜場所・選抜所は指定しており、施設計画規模の洪水に対する防災マップにより周知している。</p> <p>・施設計画規模の洪水に対する洪水想定区域域内一部の選抜場所がある。</p> <p>・一部の地区でマイハザードマップを作成し、住民の選抜所までの選抜経路の検討を行っている。</p>	<p>●各市町では、緊急選抜所を指定し、ハザードマップに記載しマップの配布を行っている。また、一部の地区でマイハザードマップを作成し、選抜経路の選定を行っている。</p> <p>○肝付町においては、一部の地区で地区防災計画を作成し、選抜経路の検討を行っている。</p>	G
						<p>●各市町では、緊急選抜所を指定し、ハザードマップに記載しマップの配布を行っている。また、一部の地区でマイハザードマップを作成し、選抜経路の選定を行っている。</p> <p>○肝付町においては、一部の地区で地区防災計画を作成し、選抜経路の検討を行っている。</p>	H

②地域住民の防災意識に関する事項

項目	鹿島島根	鹿屋市	肝付町	東串良町	現状と課題	
型定される浸水リスクの周知	<p>・施設計画規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域図を作成し公表する等、市町が作成するハザードマップの作成支援を実施している。</p> <p>・型定し得る最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域図を作成していない。</p>	<p>・施設計画規模の降雨を対象としたハザードマップを作成し、市町が周知している。</p> <p>・型定し得る最大規模の降雨を対象としたハザードマップを作成していない。</p>	<p>・施設計画規模の降雨を対象としたハザードマップを作成し、市町が周知している。</p> <p>・型定し得る最大規模の降雨を対象としたハザードマップを作成していない。</p>	<p>・施設計画規模の降雨を対象としたハザードマップを作成し、市町が周知している。</p> <p>・型定し得る最大規模の降雨を対象としたハザードマップを作成していない。</p>	<p>○鹿屋市、肝付町、東串良町は、計画図を基に洪水ハザードマップの作成、配布を行っている。</p> <p>○大隅川河川道事務所では、肝付川における計画規模の降雨による洪水浸水想定区域図をホームページ等で公表している。</p>	I
自主防災組織について		<p>・全ての地区で自主防災組織が組織されている。</p>	<p>・約9割の地区で自主防災組織が組織されている。</p>	<p>○約7割の地区で自主防災組織が組織されている。</p>	<p>●自主防災組織が組織されていない地区がある。</p> <p>●自主防災組織が組織されていないが、近年大きな被害を受けていないため、活動は低下し、災害時に正しく機能しないおそれがある。</p> <p>●自主防災組織を交えるバックアップ体制が十分に機能していないおそれがある。</p>	J
地域住民の危機意識について		<p>・近年大規模な浸水被害をうけていない。</p>	<p>・近年大規模な浸水被害をうけていない。</p>	<p>・近年大規模な浸水被害をうけていない。</p>	<p>○災害に対するリスクの共有、周知が十分でないおそれがある。</p> <p>●近年大きな被害を受けていないため、住民の防災意識が低く、自らのリスクを察知せず、避難行動をとらないおそれがある。</p> <p>●災害経験者の高齢化により、水害の歴史や防災技術の伝承ができてきず、地域の防災力の低下が懸念される。</p>	K











項目	事項	内容	実施する機関										時期	
			課題の 対応	大隅河川国道	時期	気象台	時期	鹿児島県	時期	鹿屋市	時期	肝付町		時期
2)ソフト対策の主な取り組み ②地域住民の水防災に関する危機意識を再構築するための、水防災学習・教育や自主防災組織支援等に関する取組														
■水防災を意識する社会の醸成のための支援														
		河川協力団体と連携した住民目録での啓発活動の実施	A B D K	出前講座や河川協力団体と連携した水防災意識再構築のための啓発活動の実施 河川協力団体と連携した防災意識調査・分析	引き続き実施	水防災意識再構築のための啓発活動の実施	引き続き実施	水防災意識再構築のための啓発活動の実施	引き続き実施	水防災意識再構築のための啓発活動の実施	引き続き実施	水防災意識再構築のための啓発活動の実施	引き続き実施	引き続き実施
		教育機関等と連携した水防災学習・教育の実施	A B D K	教育関係機関と連携した水防災学習の実施 防災教育教材の充実	H29年度から実施	教育関係機関と連携した水防災学習の実施	H29年度から実施	教育関係機関と連携した水防災学習の実施	H29年度から実施	教育関係機関と連携した水防災学習の実施	H29年度から実施	教育関係機関と連携した水防災学習の実施	H29年度から実施	H29年度から実施
		地域住民が安全に避難出来るよう、マイハザードマップ検討・作成の支援	G H	マイハザードマップ検討・作成支援	引き続き実施	マイハザードマップの検	引き続き実施	マイハザードマップの検	引き続き実施	マイハザードマップの検	引き続き実施	マイハザードマップの検	引き続き実施	引き続き実施
		地域住民が安全に避難出来るよう、地区防災計画の推進・支援	G H	地区防災計画の推進・支援	引き続き実施	地区防災計画の推進	引き続き実施	地区防災計画の推進	引き続き実施	地区防災計画の推進	引き続き実施	地区防災計画の推進	引き続き実施	引き続き実施
		水防災をテーマとしたハネル展ホ等の啓発活動の実施	K	防災をテーマにしたハネルの作成及び展示	H29年度から実施	防災をテーマにしたハネルの展示	H29年度から実施	防災をテーマにしたハネルの展示	H29年度から実施	防災をテーマにしたハネルの展示	H29年度から実施	防災をテーマにしたハネルの展示	H29年度から実施	H29年度から実施
		浸水実績をわかりやすく周知するために過去の洪水による浸水深を地域に表示する「まるとまことハザードマップ」の作成に向けた支援	K	「まるとまことハザードマップ」作成に向けた支援	H29年度から実施	「まるとまことハザードマップ」の検討・作成	H29年度から実施	「まるとまことハザードマップ」の検討・作成	H29年度から実施	「まるとまことハザードマップ」の検討・作成	H29年度から実施	「まるとまことハザードマップ」の検討・作成	H29年度から実施	H29年度から実施
■自主防災組織等への支援														
		自主防災組織支援、水防災教育等の講師・アドバイザー養成のための講習会等の実施	C J	自主防災組織支援、水防災教育等の講師・アドバイザー養成のための講習会等の実施	引き続き実施	自主防災組織支援、水防災教育等の講師・アドバイザー養成のための講習会等の実施	引き続き実施	自主防災組織支援、水防災教育等の講師・アドバイザー養成のための講習会等の実施	引き続き実施	自主防災組織支援、水防災教育等の講師・アドバイザー養成のための講習会等の実施	引き続き実施	自主防災組織支援、水防災教育等の講師・アドバイザー養成のための講習会等の実施	引き続き実施	引き続き実施
		災害時に迅速な避難が出来るよう、地域の防災リーダー育成や自主防災組織の育成・強化・支援	J	出前講座による防災教育の実施	引き続き実施	出前講座による防災教育や防災担当者に対する研修の実施	引き続き実施	出前講座による防災教育や防災担当者に対する研修の実施	引き続き実施	出前講座による防災教育や防災担当者に対する研修の実施	引き続き実施	出前講座による防災教育や防災担当者に対する研修の実施	引き続き実施	引き続き実施

項目	事項	内容	実施する機関										時期	
			課題の 対応	大隅河川国道	気象台	時期	鹿野市	時期	肝付町	時期	東串良町	時期		
2)ソフト対策の主な取り組み ③地域住民が安心して暮らせるよう、ハード対策や確実な水防活動が行える訓練等のソフト対策に関する取組														
■関係機関及び地域住民と実施する訓練等														
		防災担当課員の防災技術力向上と流域内 の関係機関との連携強化を目的とした防災 訓練や勉強会の実施	C	防災担当者を一室に会 した防災訓練や講習会 の実施	H28年度 から実施	防災担当者を一室に会 した防災訓練や講習会 の実施	H28年度 から実施	防災担当者を一室に会 した防災訓練や講習会 の実施	H28年度 から実施	防災担当者を一室に会 した防災訓練や講習会 の実施	H28年度 から実施	防災担当者を一室に会 した防災訓練や講習会 の実施	H28年度 から実施	
		水防技術伝承のための水防団(消防団)員 の災訓練等の実施	N	水防団(消防団)員の技 術伝承のための、防災 訓練の実施	引続き 実施	水防団(消防団)員の技 術伝承のための、防災 訓練の実施	引続き 実施	水防団(消防団)員の技 術伝承のための、防災 訓練の実施	引続き 実施	水防団(消防団)員の技 術伝承のための、防災 訓練の実施	引続き 実施	水防団(消防団)員の技 術伝承のための、防災 訓練の実施	引続き 実施	
		災害時に迅速な避難誘導が出来るよう、関 係機関と自主防災組織等が連携した要配 成者等の避難訓練の実施	O	自主防災組織等と連携 した要配成者等の避難 訓練への支援	引続き 実施	自主防災組織等と連携 した要配成者等の避難 訓練の実施	引続き 実施	自主防災組織等と連携 した要配成者等の避難 訓練の実施	引続き 実施	自主防災組織等と連携 した要配成者等の避難 訓練の実施	引続き 実施	自主防災組織等と連携 した要配成者等の避難 訓練の実施	引続き 実施	
		浸水想定区域内にある病院や地元企業に 対して、被害が最小となるための自主防災 力向上のための支援	Q	浸水想定区域内にある 病院や地元企業のBCP 作成や訓練実施の支援	H29年度 から実施	浸水想定区域内にある 病院や地元企業と連携 した訓練の実施	H29年度 から実施	浸水想定区域内にある 病院や地元企業と連携 した訓練の実施	H29年度 から実施	浸水想定区域内にある 病院や地元企業と連携 した訓練の実施	H29年度 から実施	浸水想定区域内にある 病院や地元企業と連携 した訓練の実施	H29年度 から実施	
■確実な水防活動への支援														
		適切な水防団(消防団)人員の確保	N					市報を活用した水防団 (消防団)人員の募集	引続き 実施				町報を活用した水防団 (消防団)人員の募集	H29年度 から実施
		水防協力協定等企業(地元建設業等)と連 携した水防活動の実施	N					水防協力協定の実施	引続き 実施				水防協力協定の実施	引続き 実施
		適切な水防活動を行うための、保有水防資 機材の定期的な点検確認と情報共有	P	合同巡視等で必要な水 防資機材の確認、補充 及び関係機関間の情報 共有	引続き 実施	合同巡視等で必要な水 防資機材の確認、補充 及び関係機関間の情報 共有	引続き 実施	合同巡視等で必要な水 防資機材の確認、補充 及び関係機関間の情報 共有	引続き 実施	合同巡視等で必要な水 防資機材の確認、補充 及び関係機関間の情報 共有	引続き 実施	合同巡視等で必要な水 防資機材の確認、補充 及び関係機関間の情報 共有	引続き 実施	
		堤防の変状等河川巡視結果をリアルタイム で共有するためのシステム検討	M	相互接続した専用光 ケーブルを利用し、大隅 河川国道と肝付町でリア ルタイムの情報共有	引続き 実施	相互接続した専用光 ケーブルを利用し、大隅 河川国道と肝付町でリア ルタイムの情報共有	引続き 実施	相互接続した専用光 ケーブルを利用し、大隅 河川国道と肝付町でリア ルタイムの情報共有	引続き 実施	相互接続した専用光 ケーブルを利用し、大隅 河川国道と肝付町でリア ルタイムの情報共有	引続き 実施	相互接続した専用光 ケーブルを利用し、大隅 河川国道と肝付町でリア ルタイムの情報共有	引続き 実施	
		大規模浸水被害発生時に水防活動等の拠 点となる施設の検討	P	大規模浸水被害発生時 に水防活動等の拠点と なる施設の検討 (既存施設含む)	H29年度 から実施	大規模浸水被害発生時 に水防活動等の拠点と なる施設の検討	H29年度 から実施	大規模浸水被害発生時 に水防活動等の拠点と なる施設の検討	H29年度 から実施	大規模浸水被害発生時 に水防活動等の拠点と なる施設の検討	H29年度 から実施	大規模浸水被害発生時 に水防活動等の拠点と なる施設の検討	H29年度 から実施	
■大規模災害時における排水施設の適切な運用														
		緊急時に早急かつ確かな対応を行うため 大規模災害を想定した排水ポンプ車の最 適配置計画の検討	R	大規模災害を想定した 排水ポンプ車の最適配 置計画及び釜場の検討・ 設置	H28年度 から実施	大規模災害を想定した 排水ポンプ車の最適配 置計画の検討	H28年度 から実施	大規模災害を想定した 排水ポンプ車の最適配 置計画の検討	H28年度 から実施	大規模災害を想定した 排水ポンプ車の最適配 置計画の検討	H28年度 から実施	大規模災害を想定した 排水ポンプ車の最適配 置計画の検討	H28年度 から実施	

